

BLUETOOTH機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

<p>本機の使用上の注意事項</p>	
<p>本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。</p> <ol style="list-style-type: none">本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。	
<p>2.4 FH1</p>	この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

BLUETOOTH無線技術について

BLUETOOTH無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10 m 程度までの距離で通信を行うことができます。必要に応じて2つの機器をつなげて使うのが一般的な使い方ですが、1つの機器に同時に複数の機器をつなげて使うこともあります。無線技術によってUSBのように機器同士をケーブルでつなく必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。BLUETOOTH標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

BLUETOOTH機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。本機は下記のBLUETOOTHバージョンとプロファイルに対応しています。
対応BLUETOOTHバージョン：
BLUETOOTH標準規格Ver. 3.0準拠
対応BLUETOOTHプロファイル：

- A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）：高音質な音楽コンテンツを送受信する。
- AVRCP（Audio Video Remote Control Profile）：音量の大小を操作する。
- HSP（Headset Profile）*： 通話／携帯電話を操作する。
- HFP（Hands-free Profile）*：ハンズフリーで通話／携帯電話を操作する。
- SPP（Serial Port Profile）：シリアル通信をする。

* 携帯電話のBLUETOOTH機能がHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFP（Hands-free Profile)を使用してください。

通信有効範囲

見通し距離で約10 m以内で使用してください。

- 以下の状況においては、通信有効範囲が短くなる場合があります。
- BLUETOOTH接続している機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
 - 無線LANが構築されている場所
 - 電子レンジを使用中の周辺
 - その他電磁波が発生している場所

他機器からの影響

BLUETOOTH機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4 GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の周辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本機とBLUETOOTH機器を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
- 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

他機器への影響

BLUETOOTH機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故が発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。

- 病院内／電车内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- 自動ドアや火災報知機の近く

ご注意

- BLUETOOTH機能を使うには、相手側BLUETOOTH機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、BLUETOOTH機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- BLUETOOTH無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、本機側での再生がわずかに遅れます。
- 本機は、BLUETOOTH無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。BLUETOOTH無線通信を行う際はご注意ください。
- BLUETOOTH技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機と接続するBLUETOOTH機器は、Bluetooth SIGの定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、BLUETOOTH標準規格に適合しえても、BLUETOOTH機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 本機と接続するBLUETOOTH機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

防水性についてのご注意

- 本機はIPX2相当の防滴仕様です。多少の雨や雪、水しぶき程度でしたら支障なく使用できますが、水の中につけたり、湿気の多い風呂場などに長時間放置すると故障の原因となることがあります。
- 次の点に十分ご注意ください。
 - シャワーなどで大量に水をかけないでください。
 - 水の中につけないでください。
 - 水がかかった場合は、すぐに乾いた布で水分を拭きってください。
 - 本機のすきまに入った水が外に出てくることがあります。水がかかったあとは、しばらく乾いた布の上に本機を置き、水を抜いてください。
 - 塩水がかかった状態で放置しないでください。腐食や変色、防滴性能の劣化の原因になります。
 - 落下などの強い衝撃を与えた場合は、防滴性能を保証しません。
 - 本機は防滴性能を備えていますが見、誤った使いかたによる故障は保証の対象外になります。

主な仕様

スピーカー部
使用スピーカー 直径39 mm、防磁型（JEITA*1）
エンクロージャー方式 バッシブラジエーター方式
アンプ部
実用最大出力 2.5 W＋2.5 W（全高調波歪10％、1 kHz、3.2 Ω）（JEITA*1）
入力 ステレオミニジャック×1
出力 ステレオミニジャック×1

BLUETOOTH

通信方式 BLUETOOTH標準規格Ver. 3.0
出力 BLUETOOTH標準規格Power Class 2
最大通信距離 見通し距離約10 m*2
使用周波数帯域 2.4 GHz 帯(2.4000 GHz－2.4835 GHz)
変調方式 FHSS
対応BLUETOOTHプロファイル *3 A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）、AVRCP（Audio Video Remote Control Profile）、HFP（Hands-free Profile）、HSP（Headset Profile）、SPP（Serial Port Profile）
対応コーデック *4 SBC*5、AAC*6
対応コンテンツ保護 SCMS-T方式
伝送帯域 (A2DP) 20 Hz～20,000 Hz（44.1 Hzサンプリング時）

*1 JEITA（電子情報技術産業協会）の略称です。

*2 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

*3 BLUETOOTHプロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

*4 音声圧縮変換方式のこと

*5 Subband Codecの略

*6 Advanced Audio Codingの略

マイク部
型式 エレクトレットコンデンサー型
指向特性 全指向性
電源部・その他
電源 DC 3.7 V 内蔵リチウムイオンバッテリー、DC 5.2 V（付属のACアダプターを接続してAC100 V～240 V 電源から使用）
消費電力 (ACアダプター使用時) 内蔵電池充電中：6.4 W 内蔵電池を充電していないとき：1.6 W 待機時：0.4 W（BLUETOOTHスタンバイ機能オン） 0.4 W（BLUETOOTHスタンバイ機能オフ）
充電池持続時間 (BLUETOOTH接続時) 約10時間*7
充電池充電時間 約3時間*8

*7 周囲の温度や使用状態により、上記の時間と異なる場合があります。

使用温度範囲 5℃～35℃
最大外形寸法 約175 mm×70 mm×65 mm（幅／高さ／奥行き）
質量 約400 g（充電池含む）
付属品 ACアダプター（1） クイックスタートガイド(1) リファレンスガイド(本書) (1) 保証書(1)
別売りアクセサリ 接続コード RK-G136（ステレオミニプラグ↔ステレオミニプラグ）
仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

BLUETOOTHとそのロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、ソニーはライセンスに基づき使用しています。Nマークは、USA及びその他の国における、NFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

機銘板は、本機の底面に表示してあります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口(下記)にご相談ください。修理をご依頼の際は、付属のACアダプターを本体と一緒にをお持ちください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではパーソナルオーディオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

	モデル名：SRS-BTSS50	
よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 http://www.sony.jp/support/		
使い方相談窓口	修理相談窓口	
フリーダイヤル …………… 0120-333-020 携帯電話・PHS・一部のIP電話 …………… 050-3754-9577	フリーダイヤル …………… 0120-222-330 携帯電話・PHS・一部のIP電話 …………… 050-3754-9599 ※取扱説明書・リモコン等の購入相談は こちらへお問い合わせください。	FAX（共通） 0120-333-389
		
	上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に 「309」＋「#」 を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。	
	ソニー株式会社	〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

^[1] JEITA（電子情報技術産業協会）の略称です。

^[2] 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

^[3] BLUETOOTHプロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。